

豊かで活力ある地域づくり

■魅力ある地域づくり

○「かわ」を核とした魅力ある水辺空間の創出

古くから培われてきた地域の歴史や文化、人々の生活とのつながりなど、水辺にはその地域特有の資源が眠っています。かわまちづくりによって地域の「顔」と「誇り」となる水辺空間の形成を目指します。

～民間企業による水辺を活用したイベントの開催～（五ヶ瀬川かわまちづくり）

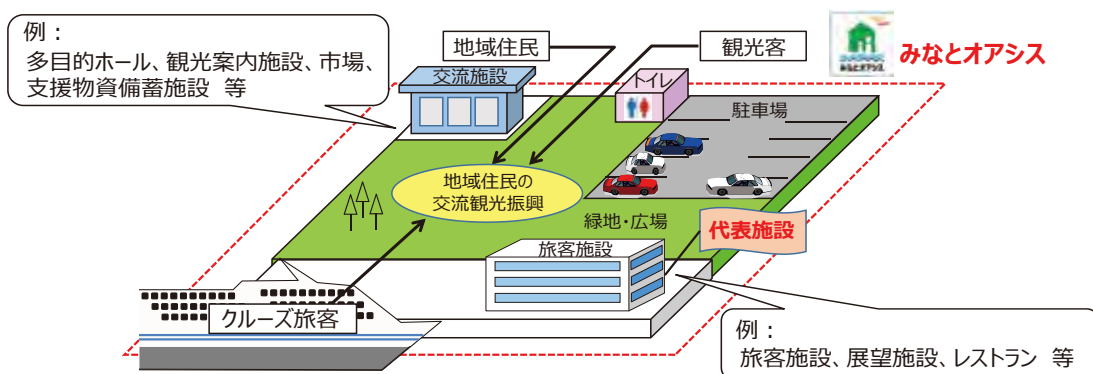


河川敷地占用許可準則の緩和を受け、平成30年4月に食の拠点となる「かわまち交流館」がオープン。民間事業者による飲食店の経営が可能となり、水辺を活かしたイベントも多数開催され、観光客で賑わいをみせています。令和2年度『かわまち大賞』を九州で初めて受賞しました。

○「みなと」を核とした住民参加による地域振興の取組

「みなと」を核としたまちづくりを促進しており、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設を「みなとオアシス」として全国147箇所（九州管内21箇所）登録（令和2年12月末時点）しています。

令和2年度は、「みなとオアシスくちのつ」、「みなとオアシス杵岐」、「みなとオアシス薩摩川内」が新たに登録されました。



みなとオアシスクちのつ（長崎県 南島原市）
代表施設：口之津港ターミナルビル



みなとオアシス杵岐（長崎県 杵岐市）
代表施設：郷ノ浦港ターミナルビル



みなとオアシス薩摩川内（鹿児島県 薩摩川内市）
代表施設：川内港ターミナル

○まちづくりと調和した「官庁施設」づくり

国民の共有財産である官庁施設に関して、良質な施設及びサービスを効率的に提供し、公共建築分野において常に先導的な役割を果たします。

◇鹿児島第3地方合同庁舎（鹿児島県鹿児島市）



「歴史と文化の道」に面する庁舎（令和4年度完成予定）

◇福岡第2法務総合庁舎（福岡県福岡市）



まちづくりと調和した施設づくり（令和元年7月完成）

○「国営公園」を核とした魅力ある地域づくり

豊かな自然環境や優れた文化的資産を生かして、多様なニーズに応える広域レクリエーション拠点として、あるいは歴史・文化の体験・発信の拠点となる国営公園の整備・管理を進め、地域連携の取組を通じて、地域活性化に寄与します。



ネモフィラが咲き誇る4月の国営海の中道海浜公園



弥生時代を体験できる国営吉野ヶ里歴史公園

○「道の駅」の第3ステージに向けた取組

「道の駅」は、平成5年の制度創設以来、現在では九州で137箇所（令和3年4月時点）登録されています。

令和2年から「道の駅」を第3ステージとして位置づけ、「道の駅」が地方創生・観光を加速する拠点となるための取組を推進します。令和3年度は、防災訓練など災害時の機能確保に向けた準備を着実に進め、また新型コロナウイルスによる新しい生活様式に適合するためのキャッシュレス導入を推進します。

【主な取組】



多言語対応の案内所



防災訓練の実施



キャッシュレスの導入



【道の駅の機能】

休憩機能

・24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ

情報発信機能

・道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報など提供

地域連携機能

・文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設や防災施設（感染症対策を含む）

第1ステージ: 通過する道路利用者のサービス提供の場
第2ステージ: 道の駅自体が目的地

高齢化が進行する中山間地域における人流・物流の確保のため、「道の駅」など地域の拠点を核とする自動運転サービスの導入を目指して支援しています。

<道の駅芦北でこぼん>



高齢者の移動支援

<福岡県みやま市山川支所>



農作物の搬送支援

